週刊 愛知民報

2020年
10月11日
第2510号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925　FAX(052) 261-6063
定価　月　400円　郵送料168円　1部　100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

## 10%増税強行から1年

# 消費税減税を共闘政策に

10月1日、安倍自公政権が消費税率の8%から10%への引き上げを強行してから1年。増税とコロナの「ダブル危機」で、愛知の景気と暮らしは深刻な打撃を受けています。

そんななか、菅義偉新首相は、安倍政治の「継承」をうたい、「自助」を強調し「消費税増税」を口にしました。

菅政権への不信とともに、消費税5%への緊急減税を求める声が広がっています。

日本共産党の、もとむら伸子衆院議員（比例東海ブロック予定候補）は2日、愛知県商工団体連合会（愛商連）と懇談し、新型コロナの影響と対策、国への要望などを話し合いました。くらしと経済を守るために消費税率を5%に緊急に下げることで一致しました。もとむら氏は、消費税減税を野党共闘の旗印にしようという日本共産党の提案を紹介し、全力を尽くすことを表明しました。

◆

消費税をやめさせる愛知連絡会は1日、名古屋市中区のスーパー前で消費税減税を求める宣伝に取り組みました。「消費税が上がり、社会保障も悪くなる。10%になって買い物をするたびに負担を実感する」という声が寄せられました。

◆

愛知4区の「市民と野党をつなぐ会」と「野党は共闘！市民アクション」は9月26日、来たるべき総選挙の基本政策案をまとめ、市民と野党の公開討論会を開催しました。

15項目の基本政策案には「消費税の税率引き下げ」が明記されています。討論会には、立憲民主党の牧義夫衆院議員や共産党、社民党、新社会党、緑の党の幹部が出席し、基本政策に同意を示しました。

消費税緊急減税を求める求めるプラカードを掲げる（左から）服部守延愛知県商工団体連合会会長、もとむら伸子衆院議員、太田義郎全国商工団体連合会会長＝2日、名古屋市

消費税をやめさせる愛知連絡会の宣伝＝1日、名古屋市

菅首相による日本学術会議人事介入に抗議するもとむら伸子衆院議員、しまづ幸広前衆院議員、沢田昭二名古屋大学名誉教授（中）＝3日、名古屋駅前

## 菅首相は学術会議への人事介入やめよ

### 共産党県委　抗議宣伝

菅首相は、1日から任期が始まった日本学術会議の会員について、同会議が推薦した105人の会員候補のうち、6人を任命しませんでした。任命されなかった学者のなかには安保法制や共謀罪を批判してきた人が含まれています。日本共産党愛知県委員会は3日名古屋駅前で、菅首相による日本学術会議への人事介入に対する抗議宣伝をおこないました。もとむら伸子衆院議員、しまづ幸広前衆院議員とともに、沢田昭二名古屋大学名誉教授が訴えました。沢田氏の訴えの一部を紹介します。

名古屋大学名誉教授（物理学）

### 沢田　昭二さん

学問の自由というのは、科学者たちが自由に研究できるようにしなければ保障されません。学問の自由は科学者だけの問題ではありません。研究が軍事的なものになれば、日本国民にとって深刻な事態になってしまいます。そうならないために科学者は政府にものを言ってきました。

菅首相の政治介入は、事実を捻じ曲げてしまうことになってしまいます。そうしたら科学がどんどん落ちぶれていきます。絶対許してはいけない。

## 共産党の比例躍進必ず

### 愛知1区　野党共闘で逆転勝利を

愛知1区の日本共産党演説会で聴衆の声援にこたえる（左から）もとむら、しまづの各氏＝4日、名古屋市

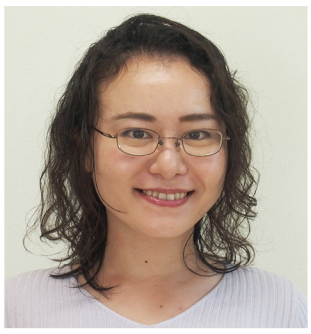
4日おこなわれた衆院愛知1区（名古屋市東、北、西、中の各区）の日本共産党演説会で、来るべき総選挙での比例代表の共産党躍進と市民と野党の共闘で政権交代が訴えられました。

演説会の主催者あいさつで、大野宙光名古屋北西地区委員長は、前回衆院選愛知1区では与党・維新の8万3千票に対し野党は9万6千票だったとして、「野党が共闘すれば1区でも勝利できる」と力を込めました。

しまづ幸広前衆院議員は、新型コロナ危機を克服し新しい日本をつくる「7つの提案」を紹介。効率一辺倒の新自由主義の転換を強調しました。

もとむら伸子衆院議員は、菅首相による日本学術会議の人事介入や安倍政権時からの非民主的な政権運営を批判。「菅政権を倒し、共産党を含む野党連合政権を実現しよう」と呼びかけました。

## 衆院比例東海候補3人目決まる



### 長内（おさない）　史子（ふみこ）

1987年生まれ。東京農業大学短期大学部卒。日本民主青年同盟東京都委員会副委員長。2017年総選挙で東京8区から立候補。現在、党愛知県青年学生副部長、党准愛知県委員。